

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
令和6年度 理事会・総会

1. 日 時 令和7年2月18日（火曜日）
理事会 午前10時
令和7年3月 7日（金曜日）
総 会 午前11時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和6年度 事業報告および決算報告の件
① 令和6年度 事業報告書
② 令和6年度 活動計算書
- (2) 第2号議案 令和7年度 事業計画および活動予算の件
① 令和7年度 事業計画書（案）
② 令和7年度 活動予算書（案）
- (3) 第3号議案 理事および監事選任の件



市村自然塾 九州

令和6年度 事業報告書

開塾までの経緯

令和6年度は子供たちの健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、入塾式を3月3日男女合同で開式し、3月17日(男子)・24日(女子)からの第1ステージに向けての準備を開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、当法人を設立した平成14年(2002年)の9月に完成し、支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様から無償でお借りしており、平成22年(2010年)平成29年(2017年)・令和3年(2020年)に改修工事を実施していただきました。また、昨年11月には塾舎戸井の水漏れ補修、研修室のブラインド交換等の大規模補修を行いました。
なお、塾舎のある用地については平成14年(2002年)9月から鳥栖市様より無償でお借りしております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地3ヶ所(約3,200㎡)を水田と畑にし、米や野菜の農作物栽培に活用しております。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤4名(うち企業からの派遣1名)、非常勤3名を確保し、活動カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和6年度の塾生募集については、令和5年9月より鳥栖市報等で取り上げていただくと共に、福岡、佐賀県内の教育委員会を通じ募集を行いました。(1チーム6名 3チームの18名)
但し、水害で通塾路が崩落しステージ回数が減少した参加者については、やり残しが多いことから、本人の希望があれば再入塾を認めることとしました。

・入塾生 男子18名(小学生17名、中学生1名)(福岡県7名、佐賀県11名)再入塾者 無し
女子18名(小学生13名、中学生5名)(福岡県8名、佐賀県10名)再入塾者 8名

5. 運営資金については、法人・個人の正会員・賛助会員のご協力による会費5,190千円および株式会社リコー様などからの寄付金24,000千円に、受取利息2千円を合わせた合計29,192千円を運営資金に充当いたしました。また、「福岡ノルウェー友好協会」様より会の解散に伴い、残余金を寄付していただきました。

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	5,001,000 円
	②賛助会員(法人・個人)	189,000 円
	計	5,190,000 円
(2) 寄付金	①株式会社リコー 様	10,000,000 円
	②コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様	4,500,000 円
	③三愛オブリ株式会社 様	3,000,000 円
	④公益財団法人 市村清新技術財団 様	2,500,000 円
	⑤ふるさと納税	2,200,177 円
	⑥福岡ノルウェー友好協会 様	1,063,637 円
	⑦岩井機械工業株式会社 様	300,000 円
	⑧「やまもの会」(卒塾生および保護者) 様	187,120 円
	⑨九星飲料工業株式会社 様	100,000 円
	⑩和歌山ノーキョー食品工業株式会社 様	100,000 円
	⑪その他	9,000 円
	計	23,999,934 円
(3) 受取利息	計	2,175 円

自然塾活動の概況

1. 全体概要

政府のコロナ第5類移行に伴い、入塾式は従来の男女合同で開催しました。

また、活動のなかで宿泊を全ステージの半分以上の8回とする計画で進め、内容を今まで以上に充実したいと考えました。但し、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎等の新たな感染症が春先より流行するなどの懸念材料がありましたが、対策を万全としたうえで活動に入り昨年同様に塾内で起因した感染者の発生はありませんでした。

また、宿泊ステージを増やした事により、塾舎内の清掃や寝具の取り扱い等の最低限のルールを守る事の大切さやチーム内の仲間との接し方を学んでもらいました。これでチームでの結束も強くなり、兄弟たちの下に対する指導も適切なものになりました。

なお、昨年大雨のため実施ができなかった「塾野菜料理会」を復活させ、自分たちで育てた野菜を使って料理をし、食材への感謝の気持ちや作ることの楽しさや喜びを味わってもらいました。

昨年に増して本来の活動内容に近いプログラムが実施できたことは、塾の運営面では今後に向けての明るい材料となりました。

2. 農業体験活動

農業体験活動では、塾生がチームメンバーと協力しながら約20種類の農作物を自らの手で育てる計画で進めました。しかし、夏場が今までない猛暑となったことで野菜の生育にも大きな影響を及ぼし、収穫量は計画どおりとは言えない状況でした。

しかし、「困難なことに立ち向かってやり通すこと」「生き物への興味・関心を持つこと」を体得し、季節の変化に応じた様々な農作業を体験してもらいました。

3. 自然体験活動

自然体験活動では、「ヤマメの放流」、田植え前の「泥んこ運動会」、大木川での「リバートレッキング」、花や風景など美しいものを見て感動できる感性を育てる「九千部山登山」を実施しました。

4. 共同生活

共同生活活動では昨年度より1泊2日の宿泊ステージを増やし、男女とも8回実施しました。

身の周りの整理整頓や共同場所の清掃、農作業道具の準備と片付け、羽釜による直火炊きの炊飯といった日常生活で経験できないことを数多く体験してもらいました。また、河内地区の自然に触れる「地域探索」萬歳寺での「坐禅会」も実施し、また地域行事の「大山祇神社ライトアップ」時の合唱では、塾生の歌声を地域の人たちに聞いてもらいました。

塾生には、割り当てられた仕事を何度も失敗を繰り返しながらできるようになるまでやり続け、仲間と協力して成し遂げて得られる達成感を体験してもらう良い機会になったと思います。

5. 安全対策

安全対策については、自然塾がある河内地区は市内の中心地から10kmほど離れており、救急車の到着には最短でも15分ほどかかることから、活動がスタートする前の2月にスタッフ全員が救急救命講習を受講し、AEDを使用した救急救命が施せるスキルを習得しました。

また、鳥栖市にある医療法人清明会「やよいがおか鹿毛病院」および医療法人如水会「今村病院」から看護師を派遣してもらい、ステージ中の塾生の体調管理や応急処置を行い、緊急時の対応も病院と連携して行いました。

6. 保護者との連携

保護者との連携については、当法人のホームページを利用して、ステージ毎の計画と活動実績を毎回掲載するとともに、塾生手帳を用いた保護者とのコミュニケーションを継続して実施しました。

令和6年度の事業活動は以下に記します。

【事業の実施概況】

実施計画	日程	実施内容																														
塾生の構成 (参加者の内訳)		(1) 学年 <table> <tr> <th>学 年</th><th>男子</th><th>女子</th></tr> <tr> <td>中学生</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr> <td>小学6年</td><td>8</td><td>4</td></tr> <tr> <td>小学5年</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr> <td>小学4年</td><td>6</td><td>2</td></tr> <tr> <td>計</td><td>18</td><td>18</td></tr> </table> (2) 地域 <table> <tr> <th>学 年</th><th>男子</th><th>女子</th></tr> <tr> <td>福岡県</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr> <td>佐賀県</td><td>11</td><td>10</td></tr> <tr> <td>計</td><td>18</td><td>18</td></tr> </table>	学 年	男子	女子	中学生	1	5	小学6年	8	4	小学5年	3	7	小学4年	6	2	計	18	18	学 年	男子	女子	福岡県	7	8	佐賀県	11	10	計	18	18
学 年	男子	女子																														
中学生	1	5																														
小学6年	8	4																														
小学5年	3	7																														
小学4年	6	2																														
計	18	18																														
学 年	男子	女子																														
福岡県	7	8																														
佐賀県	11	10																														
計	18	18																														

(3) 宿泊を伴う共同生活 (1泊2日)	男子 4月27～30日 5月18～19日 6月1.2.29.30日 8月17～18日 9月14.15.28.29日 10月12～13日 女子 5月11.12.25.26日 6月8～9日 7月6～7日 8月24～25日 9月21～22日 10月5.6.19.20日	「自主・自立・自律」を身につけさせる ① 共同生活の根幹となる基本作業をできるまで何度も実行 ・挨拶、返事 ・整理整頓 ・あと片付け ・食事のとり方 ・箸の使い方 ・姿勢 ・床の拭き掃除 ・トイレ掃除 ・入浴の仕方 ・布団の準備、片付け 等 ② 昔ながらの炊飯体験 ・米とぎ ・釜飯炊き ・羽釜洗い 等 ③ 助け合うこと、協力することを体験 ・チーム活動 ・歌の合唱 ・キャンドルサービス ・九千部登山 ・リバートレッキング 等																																												
(4) その他の事業 ① 同窓会卒塾生のボランティア参加 ② 主要支援企業による活動援助 ③ 鳥栖市との共同事業	男子 3月17日～ 10月13日 女子 3月24日～ 10月20日 7月23日 11月24～25日	① 卒塾生のボランティア参加 ・第1ステージ(3月17日)から、7～14期生 67名が活動に参加 (男子36名、女子31名) ② 支援企業による活動援助 ・支援企業のリコージャパン株式会社の社員17名および コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の社員8名、 佐賀ガス株式会社の社員3名が泥んこ運動会・田植え・稲刈り・脱穀・餅つきに参加。 ③ 「鳥栖市少年少女自然体験」事業 ・鳥栖市教育委員会主催の小学生(18名)を対象にした自然体験事業に共催者として、プログラム検討、活動補助を行う。 ④ 「English Camp in Tosu」事業 ・鳥栖市教育委員会主催の中学生(21名)を対象にした英語学習事業に共催者として、活動補助を行う。																																												
(5) 会員の状況	令和6年 12月末現在	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">法人</th><th colspan="2">前年比</th><th colspan="2">個人</th><th colspan="2">前年比</th></tr><tr><th>社数</th><th>口数</th><th>社数</th><th>口数</th><th>人数</th><th>口数</th><th>人数</th><th>口数</th></tr><tr><td>正会員</td><td>43</td><td>164</td><td>▲4</td><td>▲5</td><td>18</td><td>27</td><td>▲1</td><td>+1</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>5</td><td>9</td><td>+1</td><td>+2</td><td>38</td><td>96</td><td>▲1</td><td>+10</td></tr><tr><td>計</td><td>48</td><td>173</td><td>▲3</td><td>▲3</td><td>58</td><td>112</td><td>▲2</td><td>+11</td></tr></table>		法人		前年比		個人		前年比		社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数	正会員	43	164	▲4	▲5	18	27	▲1	+1	賛助会員	5	9	+1	+2	38	96	▲1	+10	計	48	173	▲3	▲3	58	112	▲2	+11
	法人			前年比		個人		前年比																																						
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数																																						
正会員	43	164	▲4	▲5	18	27	▲1	+1																																						
賛助会員	5	9	+1	+2	38	96	▲1	+10																																						
計	48	173	▲3	▲3	58	112	▲2	+11																																						

〈第1号議案〉 令和6年度 事業報告および決算報告の件 ②

令和6年度 活動計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員			
法人会員	4,920,000		
個人会員	81,000		
賛助会員			
法人会員	45,000		
個人会員	144,000	5,190,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		23,999,934	
3. その他収益			
受取利息		2,175	
経常収益計			29,192,109
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	11,947,807		
賃金	1,360,835		
法定福利費	1,436,445		
人件費計	14,745,087		
(2) その他経費			
教材費	266,007		
燃料費	132,410		
図書資料費	37,231		
保健衛生費	137,712		
食材費	735,908		
旅費交通費	166,290		
通信運搬費	684,007		
消耗品費	442,479		
水道光熱費	1,200,987		
賃借料	1,708,372		
印刷製本費	951,317		
修繕費	194,777		
保険料	15,725		
教育研修費	18,000		
その他経費計	6,691,222		
事業費計		21,436,309	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	3,647,887		
法定福利費	185,756		
人件費計	3,833,643		
(2) その他経費			
旅費交通費	57,438		
福利厚生費	1,868,311		
通信運搬費	61,337		
消耗品費	47,374		
水道光熱費	300,249		
賃借料	385,704		
渉外費	45,016		
修繕費	38,500		
支払手数料	121,571		
保守費	1,636,073		
雑費	272,823		
その他経費計	4,834,396		
管理費計		8,668,039	
経常費用計			30,104,348
当期正味財産増減額			△ 912,239
前期繰越正味財産額			21,826,307
次期繰越正味財産額			20,914,068

貸 借 対 照 表

令和6年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	118,313		
普通預金	22,769,725		
仮払金	98,600		
流動資産合計		22,986,638	
2. 固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			22,986,639
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,744,665		
預り金	327,906		
流動負債合計		2,072,571	
負債合計			2,072,571
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		21,826,307	
当期正味財産増減額		△ 912,239	
正味財産合計			20,914,068
負債及び正味財産合計			22,986,639

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	1					1
合 計	1					1

財 産 目 録

令和6年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	118,313		
普通預金			
西日本シティ銀行 1107615	18,078,951		
西日本シティ銀行 3006184	3,824		
福岡銀行	3,913,572		
佐賀銀行	773,378		
仮払金	98,600		
流動資産合計		22,986,638	
固定資産			
器具備品	1		
固定資産合計			1
資産の部合計			22,986,639
負債の部			
流動負債			
未払金	1,744,665		
預り金			
源泉税	13,890		
社会保険	290,216		
住民税	23,800		
流動負債合計		2,072,571	
負債の部合計			2,072,571
正味財産			20,914,068

監 査 報 告

令和6年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和7年4月6日

監 事 野 口 貴 司



令和7年度 事業計画書(案)

1. 事業計画策定にあたって

令和7年度の「市村自然塾 九州」の活動は、本来の基本理念および指導方針に基づいた内容を具体的に実行していく計画です。

ただ、コロナ禍の影響は大きく大口支援先の減額や諸物価の高騰は、塾設立時よりの連泊活動(2泊3日)を実行するための資金を確保するのは難しい状況にあります。そのなかで活動内容を再度見直し、子供たちの健全育成をより高めていきます。

また、新たに流行が考えられる感染症(インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等)に対しては、従来どおり対策を強化し活動に臨む所存です。

「基本理念」

『生きる力を大地から学ぶ』

- ・自然の助けを借りながら
- ・共に考え、知恵を働か
- ・自らの汗を流し
- ・自らが成長する

「運営の基本方針」

『塾生の「自主」「自立」「自律」』

「考え方」

- ・安全面に配慮し、危険の伴う事柄や基本的な事柄については教えるが、子供たち自ら考え、行動することで体得できるようにする。

「基本スタンス」

- ・「指示しすぎず」「命令しすぎず」「教えすぎず」「世話をやきすぎず」指導は最低限にとどめ、子供たち自らの気づきを大切にする。

2. 事業計画策定方針

- ・日帰り活動と宿泊活動を基本とし、全15ステージ中、半数以上の8ステージを1泊2日の宿泊とします。
- ・昨年に復活させた「九千部山登山」「早朝日の出拝観」「姿勢の話」等の自然体験活動は継続して実施。また、新たに「森林保全活動」「地域清掃」等のボランティア活動を復活させ、塾生に奉仕活動の大切さを学ばせます。
- ・自然塾の安定的な継続を図るため、以下の施策を行います。

①「塾活動見学会」(会員、一般者向け)の開催 (会員5～6月・一般9～10月で計画)

塾活動を広く認知してもらうことを目的にステージ期間中に見学会を開催。日頃よりご支援をいただいている法人、個人の会員様に活動へのご理解を深めてもらう共に、関係企業、個人様への紹介をお願いするものです。また、SNSとの連動も併せて検討する予定です。

- ・各企業、団体での講演会、集会等で呼びかけを強化します。
- ・卒塾生、保護者への入会依頼

②「ふるさと納税」の拡大

- ・会員の拡大とともに卒塾生、保護者、各企業、団体に集会、講演会等で依頼

③経費の圧縮 等を行う。

- ・新たな感染症(インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等)対策を万全にし、全ステージで感染者ゼロの達成を目標にします。また、「感染対策マニュアル」の内容の見直しを行い、より一層の対応強化を図ります。

3. ステージ運営に関する活動

(1) 事業内容

- ① 農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培/チーム農園・共同農園・水田
- ② 自然体験活動 リバートレッキング、地域探索、坐禅会、日の出拝観、九千部山登山 等
- ③ 共同生活 挨拶、清掃、整理整頓、食事マナー、釜めし炊き、歌の合唱、姿勢の話 等
- ④ ボランティア活動 ヤマメの放流、塾舎周辺の清掃活動、森林保全活動への参加
- ⑤ 宿泊活動 1泊2日の宿泊ステージを男女共8回実施

(2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学2年生までの児童生徒 男子18名・女子18名 計36名

(1) 学年構成

学 年	男子	女子
中学生	1	3
小学6年	3	4
小学5年	7	5
小学4年	7	6
計	18	18

(2) 地域構成

学 年	男子	女子
福岡県	6	12
佐賀県	12	6
計	18	18

(3) 活動の期間

- ① 入塾式 3月9日(日) 男子、女子合同
- ② 男子活動期間 3月16日(日)～10月12日(日)
- ③ 女子活動期間 3月23日(日)～10月19日(日)
- ④ 卒塾式 10月26日(日) 男子、女子合同
- ⑤ 大山祇神社ライトアップ時の合唱 11月8日(土) 男子、女子合同

(4) 従事者の状況

常勤 6名 企業から出向者(1名) 契約社員(3名) アルバイト(2名)
 非常勤 6名 調理スタッフ(5名・交代制) 看護師(1名)

(5) その他の活動

- ① 鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(第20回)
 - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
 - ・リバートレッキング等の自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性、協調性を高めることを目的とした鳥栖市教育委員会(生涯学習課)の活動を支援します。
 - ・鳥栖市内の小学生を対象に1泊2日の自然体験活動
 - ・開催日:夏休み期間中の7月23～24日を予定
- ② 鳥栖市「English Camp」の開催(第2回)
 - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
 - ・ハイキングや野外炊飯を通して海外留学生と市内中学生が交流し、語学向上とグローバルな人材育成を目的とした鳥栖市教育委員会(学校教育課)の活動を支援します。
 - ・鳥栖市内の中学生を対象に日帰りで実施
 - ・開催日:11月の中旬頃(土曜もしくは日曜)を予定
- ③ 「やまものの会」総会の開催(第19回)
 - ・卒塾生の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことを目的とします。
 - ・開催日:男子8月8日・女子8月9日を予定

4. その他

(1) 安定的な収入の確保

安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう会員拡大、退会者抑止および「ふるさと納税」継続、拡大を行います。また、企業や各団体が集まる場を利用して広く自然塾活動の内容や意義を周知します。具体的には「ふるさと納税」「会員募集」「寄付金」等の募集パンフレットを卒塾生、保護者、塾関係者会員企業等に届け、新規寄付先の拡大、増額を目指します。

(2) 応募者の確保

本年度の塾生募集は、昨年9月から各教育委員会の後援を受け福岡県、佐賀県内の小中学校を中心に募集を行いました。(福岡県 680校・佐賀県 257校)

結果、男女共定員には達しましたが昨年に続き、非常に少ない応募状況となりました。

そこで、今後の塾生募集については、下記の施策で応募者の確保を目指します。

- ・募集先を学校以外の公共施設(駅・図書館他)や支援企業、会員等にも広げる
- ・HPの有効的な利用を検討する(SNSとの連動等)
- ・地域のマスメディア(TV・ラジオ等)を利用した広報活動を行う

【参考】応募者数の推移

令和1年	76名(男子36名 女子40名)	対前年比
令和2年	83名(男子38名 女子45名)	+ 7名
令和3年	59名(男子30名 女子29名)	▲24名
令和4年	38名(男子19名 女子19名)	▲21名
令和5年	49名(男子30名 女子19名)	+ 11名
令和6年	40名(男子22名 女子18名)	▲ 9名
令和7年	42名(男子24名 女子18名)	+ 2名

(3) SNSの活用

「Instagram」

昨年、従来のホームページによる活動実績やイベントの呼びかけ等を「Instagram」の利用で手軽かつ迅速に情報を伝える大きな手段にする計画でした。しかし、発信内容や運用ルールの精査に十分な検討ができず運用に至っていません。そこで今年度も引き続き検討課題とし、早期の対応を行います。

「LINE」

現在、卒塾生や保護者宛の通信手段として利用している郵送方式は、値上げにより経費の増加の一因となっており、早急に対応すべき案件となっています。また、紙ベースの情報のやり取りは登録住所の変更や回答まで時間がかかることから、回収率も低いものとなっています。

そこで、卒塾生や保護者に「LINE アカウント」の登録を依頼し、今後の通信手段を全て「LINE」に変更する計画です。具体的には本年度の「やまもの会」総会案内時に登録、利用を呼びかけたいと考えています。

(4) ボランティアの確保

本年度も塾生の安全確保の面からボランティアの支援が必要なものとなっています。

そこで昨年に続き、主に卒塾生主体(やまもの会)にボランティアを募集します。

ただし、塾運営の最低限の知識を持ってもらうため、塾活動開始前に説明会を兼ねた勉強会を開催し、安全対策、塾生に対する姿勢、農業知識等を周知させる計画です。

また、人数を多く必要とする活動(田植え、稲刈り等)時には理事企業の社員様を中心としたボランティアをお願いし、塾生の安全確保を図りたいと考えています。

〈第2号議案〉 令和7年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和7年度 活動予算書(案)

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費	5, 185	〈正会員〉 法人 30,000円×164口 個人 3,000円×27口 〈賛助会員〉 法人 5,000円×8口 個人 1,500円×96口
2. 受取寄付金	23, 036	株式会社リコー 10,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 4,500 三愛オブリ株式会社 3,000 公益財団法人市村清新技術財団 2,500 ふるさと納税 2,200 その他 836
3. その他収益	33	受取利息 2 中山間地農業補助 他 31
経常収益計	28, 254	
II 経常費用		
1. 事業費	20, 405	職員給与 11,330 調理師、看護師の人材派遣費用 1,365 社会保険料、労働保険料 等 1,359 種・苗・堆肥 等の活動教材 270 塾保有車ガソリン代・農機具燃料費 140 新聞購読料 等 38 日用品、医薬品 等 160 活動時における食事の食材費用 730 塾生送迎交通費、業務上の交通費 等 133 電話料金、郵送費、宅配費 等 600 事務用消耗品、厨房関係消耗品 等 361 電気、ガス料金 1,310 車両、寝具リース、農地、機械借用料 等 1,517 コピー代、塾生手帳、塾生募集パンフレット 等 998 活動用機器の修繕費 60 看護師、ボランティア参加時の保険 等 17 外部研修参加費 17
2. 管理費	8, 044	職員給与 3,112 社会保険料、労働保険料 等 163 出張旅費、交通費 140 単身職員借上寮、定期健康診断料 等 1,626 電話、携帯電話、切手 等 72 事務用消耗品 等 45 電気、ガス料金 378 パソコンリース、車両リース 等 471 会議時の飲食費用 30 地域協力のための会費、慶弔費用 等 70 設備機器の修繕費用 40 振込手数料・残高証明 等 152 収入印紙代 3 警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等 1,627 会計サポート、玉串料 等 115
当期正味財産増減額	△ 195	
前期繰越正味財産額	20, 914	
次期繰越正味財産額	20, 719	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：千円)

科 目	令和7年 予算(案)	令和6年 実績	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員				
法人会員	4,920	4,920	-	
個人会員	81	81	-	
賛助会員				
法人会員	40	45	△ 5	
個人会員	144	144	-	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	23,036	24,000	△ 964	福岡ノルウェー友好協会寄付金の減
3. その他収益				
受取利息	2	2	-	
雑収益	31	-	31	
経常収益計	28,254	29,192	△ 938	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	11,330	11,948	△ 618	新採用4～6月試用期間/7月採用(予定)
賃金	1,365	1,361	4	
法定福利費	1,359	1,436	△ 77	新採用4～6月試用期間/7月採用(予定)
人件費計	14,054	14,745	△ 691	
(2) その他経費				
教材費	270	266	4	
燃料費	140	132	8	
図書資料費	38	37	1	
保健衛生費	160	138	22	
食材費	730	736	△ 6	
旅費交通費	133	166	△ 33	
通信運搬費	600	684	△ 84	
消耗品費	361	443	△ 82	
水道光熱費	1,310	1,201	109	
賃借料	1,517	1,708	△ 191	
印刷製本費	998	951	47	
修繕費	60	195	△ 135	
保険料	17	16	1	
教育研修費	17	18	△ 1	
その他経費計	6,351	6,691	△ 340	
事業費計	20,405	21,436	△ 1,031	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	3,112	3,648	△ 536	アルバイト交代に伴う減
法定福利費	163	186	△ 23	
人件費計	3,275	3,834	△ 559	
(2) その他経費				
旅費交通費	140	57	83	
福利厚生費	1,626	1,868	△ 242	
通信運搬費	72	61	11	
消耗品費	45	47	△ 2	
水道光熱費	378	300	78	
賃借料	471	386	85	
会議費	30	-	30	
渉外費	70	45	25	
修繕費	40	39	1	
支払手数料	152	122	30	
租税公課	3	-	3	
保守費	1,627	1,636	△ 9	
雑費	115	273	△ 158	求人広告掲載料減
その他経費計	4,769	4,834	△ 65	
管理費計	8,044	8,668	△ 624	
経常経費計	28,449	30,104	△ 1,655	
当期正味財産増減額	△ 195	△ 912	717	
前期繰越正味財産額	20,914	21,826	△ 912	
次期繰越正味財産額	20,719	20,914	△ 195	

令和7年度
理事 および 監事(新体制案)
任期 令和7年3月16日から令和9年3月15日

理 事

	氏 名	備 考	
代表理事	柴田 暢雄		再任
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長	再任
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 九州地域担当	再任
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長	再任
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務	再任
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部 ESGセンター所長	再任
理事	志村 一郎	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長	新任
理事	八田 聡子	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長	再任

監 事

	氏 名	備 考	
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長	再任

定款より

第4章 役員および職員
(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち1人を代表理事とし、2名以内の副代表理事を置くことができる。

令和6年度
理事 および 監事(現体制)

理 事

	氏 名	備 考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 九州地域担当
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部 ESGセンター所長
理事	大久保 宏次	キグナス石油株式会社 常務取締役
理事	八田 聡子	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長

監 事

	氏 名	備 考
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長

以上